



第9回 富山口唇口蓋裂勉強会



残暑が未だに厳しき折、皆様におかれましては変わらずご清祥のこととお慶び申し上げます。先日開催いたしました第9回 富山口唇口蓋裂勉強会 は、参加人数が61名と多くの方にご出席いただき、とても活気ある会になったことを心から感謝申し上げます。少しでも日頃感じている疑問や治療に関する知識を深めていただくことができたならば幸いです。また、残念ながら今回の勉強会への参加が叶わなかったご家族にも、少しでもフィードバックできればと思います、今回の勉強会についての報告をさせていただきます。同封いたします「学童期の顎裂部骨移植について」の資料もぜひご覧ください。来年も多くの方のご参加をお待ちしております。

口唇口蓋裂と滲出性中耳炎について

耳鼻咽喉科 中西 亮人 先生

耳の構造は、外から外耳、中耳、内耳に分けることができます。中耳は、耳管というトンネルを通じて鼻とつながっています。鼻への出口を耳管開口部とよび、中耳の換気や鼻の汚れが耳に入らないようする働きがあります。口蓋裂があると、この耳管開口部の働きが不十分で、中耳に溜まった液体を排出することができなくなります。これを滲出性中耳炎とよびます。滲出性中耳炎の炎症は弱く、痛みや発熱はほとんどありませんが、音の伝わりが遮断されてしまうので難聴になります。定期的に耳鼻科の診察を受け、口蓋形成術の際に、鼓膜に穴をあけて液を排出させるチュービングという処置が必要になる場合もあります。



学童期の顎裂部骨移植について

顎口腔外科・特殊歯科 藤原 久美子

顎裂は、歯が植わっている骨、いわゆる歯槽骨が欠損している部分です。この部分は犬歯（前から3番目の歯）が生えてくる場所ですが、骨のない場所に生えることはできません。そこで、犬歯ができてくる、小学生から中学生にかけてのころ（学童期）に骨をつくる必要があります。移植する骨は、子供でも安全に比較的多く骨を採取することができる腸骨を利用します。骨移植には必ず矯正治療が必要ですので、小学校入学ごろの育成医療機関での受診を勧めています。



みんなで歯磨きしよう！

休憩時間に、みんなで歯の汚れを染め出して歯磨きの練習をしました。最初はお口が真っ赤になってビックリする子もいましたが、医局員が歯磨き指導をしながら、鏡を見て自分でしっかり汚れを落としたり、親御さんに仕上げ磨きをしてもらったり、最後にはみんな、真っ白でキレイなお口になりました。みんなで一緒にする歯磨きはとても楽しかったです。

